

学校だより

プラタナス



令和4年3月9日(水)

市川市立市川小学校

No.33

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

「自分にはよいところがある！」と自信を持って言える子に



左は、くすのき しげのりさんの絵本です。この本のあとがきに、次のような文章が添えられています。

“自分のいいところが見つけれないそうた君。友達のいいところはたくさん見つけれられるのに。そうた君は泣きそうになります。そんなそうた君のいいところを先生は見つけてくれました。それは、「友だちのいいところをたくさん見つけれられる」ことでしたね。一人一人いいところがあります。皆さんも自分のいいところが見つかりますように。”(原文は、全てひらがな)

大人でも「自分のよいところを言ってください」と投げかけられたら、ちょっと困惑してしまいます。日本人の特性(?)というか、控えめであることを美德とし、そして「あの人は奥ゆかしい」とか「謙虚な人だ」と言って称えることがあります。また、自己アピールを「恥」と捉え、「沈黙は金」という文化が日本人の根底に流れているような気がします。

さて、この本を読み聞かせした後、子どもたちに「自分のよいところはどんなところですか？」という質問にどんな反応を見せたでしょうか。実は、学年が上がるにしたがって挙手する数が急減する傾向があったようです。「自尊感情」を高めるためにはどうしたらよいのでしょうか？繰り返すにはなりますが、本校の重点の一つでもある「有用感」「自己肯定感」に共通する課題です。

ある意味、年齢があがっていくと素直に「私のよいところはここです！」と言えなくなってくるのは当たり前のことかもしれません。思春期には、概して自分の長所より短所(コンプレックス)の方が心の中を占めてしまうものですし、同時に『他を見る目』も育ってきます。「あいつはこういうところはちょっとダメだけど、意外と優しいところがあるんだ」「話し合いの時、時々よい意見を言ってくれるんだよねあ」など、まわりの友達のことをよく見て評価している様子が窺われます。



学級でも「エンカウンター」といって、本音で話したり、互いを認め合うアクティビティをしたりすることがあります。その活動で友達のよいところ探しをすると、子どもたちは大人が見ている以上にたくさん友達の長所を知っていることに驚かされます。大人の知らない意外なエピソードが明かされることも…。自分のよいところを見つけて伝えてもらったとき、子どもたちはちょっぴり恥ずかしそうで、でも内心とても嬉しく思っているように見えます。

大人になっても、褒められることはやはり嬉しいことです。「自分はそんなふうに見てもらえているのか」と、自尊感情も高まりそうです。学級も、家庭も、私たち大人同士も、お互いの長所を素直に認め合い、伝え合い、高め合える関係でありたいものです。

先の絵本は、“先生に良いところを見つけてもらったそうたくん。『ぼくはうれしくて……。ほんとうにちょっとだけ なみだが でてしまいました。』”と終わるのです。

3月11日は「市川市防災教育の日」とされています

東日本大震災からはや11年の歳月が流れます。6年生ですら記憶がない出来事です。私たちは、あの恐怖、不安、ライフラインの脆弱さ、様々なことを学んだはずですが、首相官邸HPでも、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震が30年以内に70%以上の確率で発生すると書かれていますが、実感が湧かず、準備や対策が後回しにされているということはないでしょうか。

今年も明後日、放送と画像で話をします。家庭でも「災害に備えて何をしたらよいのか」など、話題にしてほしいと考えます。ここでは「地震」について触れていきます。



(1) 首都直下型地震：最悪2.3万人の死者が想定される

南海トラフ巨大地震の場合は、静岡から宮崎にかけての地域の一部で東日本大震災をはるかに超える震度7の可能性が言われている

(2) 第一次避難行動《地震》

- 【家の屋内】*大きな家具から離れ、落下物から身を守るため丈夫な机の下などに隠れよう
*料理や暖房等で火を使っている場合、火元から離れていたら無理に消しに行かない
*慌てて外に飛び出さないで、扉を開けて避難路を確保しよう
- 【大規模店舗】*慌てて階段や出口に殺到せずに、係員や従業員の指示に従おう
*吊り下がっている照明などの下から退避しよう
- 【エレベーター内】*最寄りの階で停止させてすぐに降りよう
- 【屋外の場合】*ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などがあるので離れよう
*ビルの壁や看板、割れた窓ガラスなどの落下に気をつけよう
- 【大都市で遭遇】*頭上からの落下、道中の火災など大きな危険が予想されるので、安全な場所からむやみに移動しないようにしよう
*駅周辺は大混雑して将棋倒しや集団転倒が起きやすいことを心しよう
*発生3日程度は消火や救助活動優先で混乱が続くので、安全な場所にとどまろう
- 【その他に】*電話やインターネットがつながりにくいため、連絡方法や情報入手手段を確認しておこう
*電気やガス、水道が使えず、復旧に時間がかかることがあると予め知っておこう

(3) 富士山が噴火したら：火山灰は、交通や生活に想像もつかないダメージになる

そこで、「行動の備え」として5つ挙げます。人任せにせず、家族みんなで話をしてみてください。



- ① 家具の置き方を工夫していますか？ ② 食糧や飲料水の備蓄は十分ですか？
- ③ 非常持ち出し袋は準備していますか？ ④ 安否の確認方法は決まっていますか？
- ⑤ 避難場所や避難経路はわかっていますか？

さらに、“大きな地震や河川の氾濫、富士山の噴火などは、起きてあたりまえ”と覚悟する「心の準備」も忘れないようにしたいものです。

第22回市川手児奈文学賞 入選作品の紹介

- 1年 K. M 川柳 なつのごご わたしもそらも ゴロゴロさ
- 3年 T. K 短歌 夏の日ざし 光をはなつアイリンク せかいが広がる 市川のまど
- 3年 K. T 俳句 赤い葉が ぱらぱらおちる あきがくる
- 3年 F. S 川柳 おべん当 あけてびっくり うれしいな
- 3年 M. K 川柳 おじいちゃん 百二さいだぞ 長生きだ
- 3年 Y. T 川柳 ダイソーは なんでも百円 んなわけない
- 4年 K. G 川柳 開会式 地理の勉強 できちゃった

